



▲一塁側アルプス席は赤一色に染まった。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

7回

7回表に波佐見高校に2点を追加され逆転を許した。1点を追う本校は9回裏、主将の松井拓真君(3-5)が代打で安打を打ちチームの打線に火をつけ、その後同点に追いついた。そして4番岩本道徳君(3-5)の適時打で逆転し勝利を収めた。

チアリーダー代表の藤原穂香さん(2-4)は波佐見高校に2点追加で逆転されたことについて「野球部なら返してくれると思う」と話し、「あと8回・9回のみなので今までよりもっと声を出して応援してほしい」と熱意を見せた。田澤壮太さん(3-3)の母、眞美子さんは「1

点差だが頑張ってくれと思う。増居君が頑張ってくれてくれるのできつと勝つと思う」と期待を寄せられた。原晟也君(3-8)の兄で野球部OBの健登さんは「強い相手だが自分たちの野球を貫き通している。このまま守りきってほしい」とエールを送られた。

8回

藤原さんは「打たれてはいけないところでした」と増居君は投げたのですごいと思った」と感心した。永橋日和さん(2-1)は「最初はよかったですけど、だんだん危なくなってきたので頑張ってください」と励ました。

9回

本田彩亜紗さん(1-4)は代打で出場した松井君の安打について「すごく興奮した。一気に良い流れになり、応援席もすごく盛り上がった」と振り返り「勝利が決まったときは感動した。9回裏と追い込まれても楽しそうに野球をする選手のみなさんはかっこよかった」と微笑んだ。伊藤亜友加さん(1-2)は「本

張と興奮でいっぱいだった。ホームランは本当にかっこよかった。9回裏に岩本さんの安打から原さんがホームに還ってきて勝利したのは感動した。最後まで諦めなかった野球部のみなさんがかっこよかった」と笑顔で話した。佐藤歩夢君(1-7)は「よく頑張ってください」と思う。素晴らしいところもあったが、勝つてうれしい」と述べた。匠祐亮君(1-4)は「感動以上のものが心から湧き上がってきた」と話した。柴田昌理君(1-1)は「2度の逆転劇があつて、とてもワクワクした試合だった。このような試合を次も期待したい」と期待を込めた。



▶サヨナラ勝ちに湧く本校側アルプススタンド